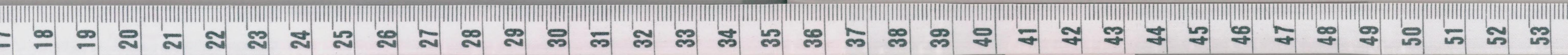
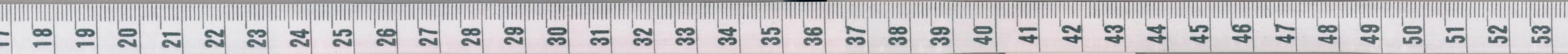
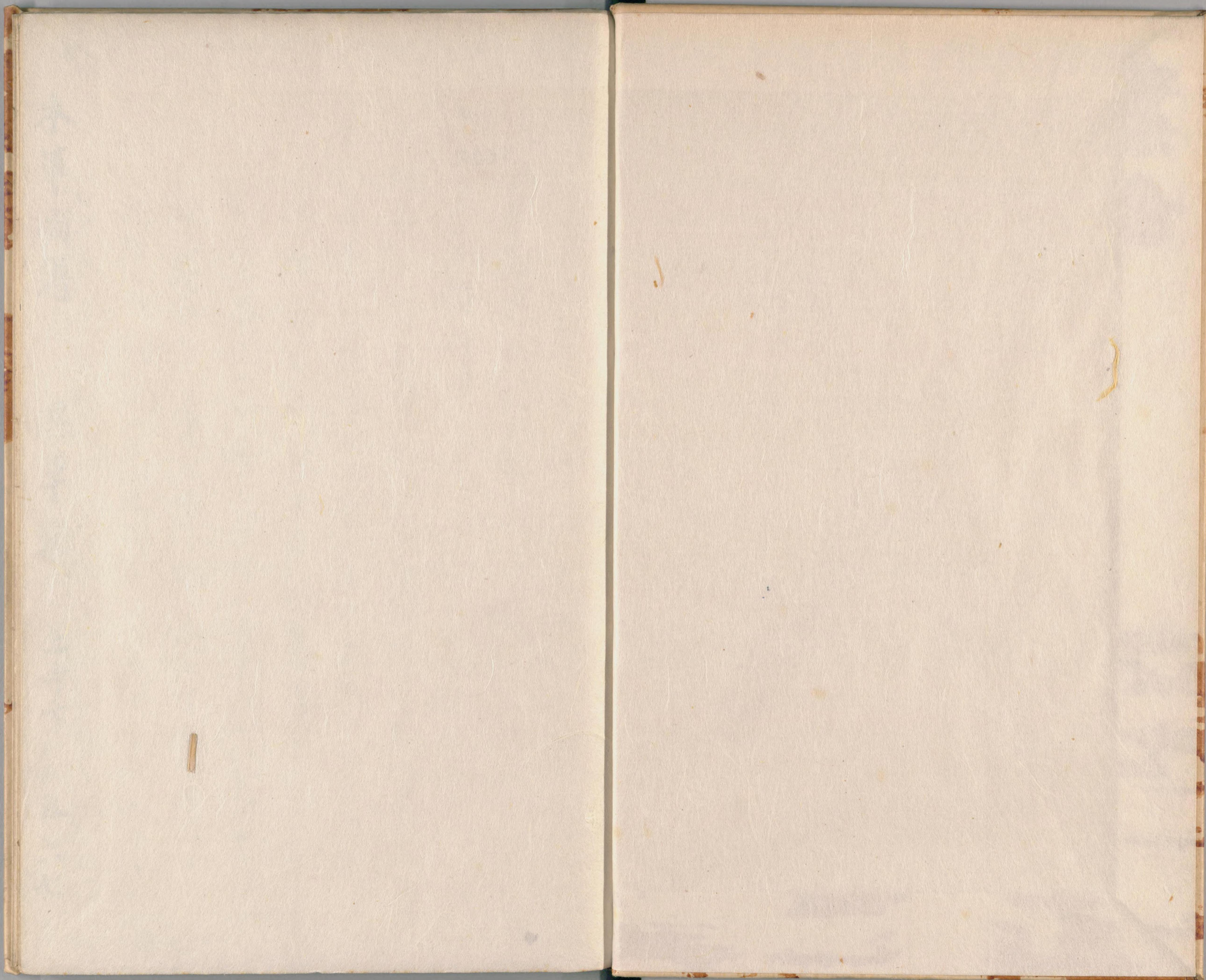


本草圖譜

濕草類 上中下 五六七

特1
3407





国立国会図書館 タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用

本草圖譜

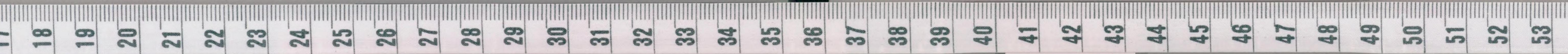
濕草類

上中下

五六七

特1
3407

本草圖譜卷之十七
 濕草類
 地黄
 地黄二種ありて云々
 初生の芥又似て厚く深緑色
 あり書道堅く夏月茎へ抽て七八寸梢の葉闊
 花あり筒状なりて末五瓣なりて胡麻花に似たり



本草圖譜 濕草類 卷之十七

特1-3407

本草圖譜卷之十七

濕草類 五十一

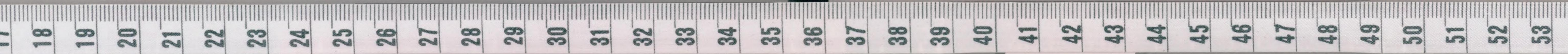


地黃
黄花と二種ありと云和産も亦赤矢白矢と二種
あり凡て野生なり其赤矢ハ初夏宿根より生る葉ハ
初生の芥子似て厚く深緑色なり皺紋毛茸
あり葉互生し夏月莖を抽て七八寸梢の葉間より
花筒様なり末五瓣なりて胡麻花に似て
淡紅色根亦黄色なり人指の長さ二三尺なり

メリツテス蘭と云
蘇頌の説は紅紫花と



淡紅色根亦黄色なり人指の長さ二三尺なり



及小寒地より十月掘採陽地より野へ置四五月に至り
出り一二寸宛に伐て栽りたり山城大和菟前より多く
作り

一種

白矢の葉赤矢と同じく稍淡緑色花黄色

根亦黄白色より皮薄く肉多く上品なり然れども
赤矢より培養しやすく腐り易くして利少きゆへ

今栽りぬ又女一惜むべし培養宜しけれハ好そ

赤矢より肥大より多あり

桐花菜清とよ

胡面芥

いぬいぬいぬ

これ地黄の一種なり

春宿根より生る葉の地黄に似て花紅色形地黄より
同く暖地より四時葉あり根又地黄に似て乾すとま
枯瘦し用たりぬ

午藤

いぬいぬいぬ

去年藤の山野荒地より

春宿根より生る葉の形に似て對生し節高し一と半
の藤に似て淡紅色秋月高き三四尺梢に穂となり
小花の開き後實を結ぶ熟すと倒れ掛りしれり
觸るとまへ人衣獸毛に粘着し根の形丹参に似て
細長紅黄色油多し此山萵菜椒荒又山午藤椒荒
野譜

なり

川午膝

山中陰地に生る葉は桃の如く鋸止歯あり

光澤あり花白葉土午膝と一般なり苗を用ひ上口田草

一種

ふいふりさく

山野陰處に多し春霜

根より生る葉は排草カハミドリソウ香葉に似て香はく雲頭クモカサの

鋸齒あり圓莖節高く對生一穂の形土午膝の

如く實午膝と同じ根も午膝の如く細し此苗葉

と揉り飯に雜へ置蠅に毒あり葉味益し

此葉苑

志とに 和名鈔

萬葉集に志との志と云

集解の説まふに志との志と云と云るに復ちこれとも

先哲舊説に従ふ春霜根より生る葉長さ二三尺

本狭く末潤く秋月莖高さ四五尺梢に枝を分ちるあり

形馬蘭ウマランに似たり根鬚の如し

一種

大根

近年江戸にあり葉長さ

四五寸莖は四二尺許り花は此葉苑と同じ

一種

桔梗が系めと云ん

關ヶ原御陣の御印

御幕の御印は御幕の如くとも名はく
石破の關ヶ原を朝倉義方より形は

大根 ~~根~~ 志と人の心にて又小雞兒腸ヨメナに似て深緑色光

澤阿の秋月茎高さは二尺許花ハ紫莖死に似て小し

一種 せんたんのぎく 御幕の内ノ類葉甚狭く

柙葉の如く一根叢生た花ハ紫莖に似て小なり

女菀 志と人 武州處ニ必即ニ多ク一宿根

より生る葉ハ旋覆花ラグルに似て狭長初地ニ

布後莖空と起り夏月高さは二三尺梢ニ枝を分ち花

と開く白色より碎瓣ハ菊の如く後白茹とる

夾門冬 やまのひげ延喜 數種あり山野ニ生る

又多く人家ノ義也ハ葉の物とつとのひげ江とよ葉

潤さ一二分長さ一尺許扁く叢生る深緑色又潤ま

根ハ白色の塊阿天門冬に似て小なり夏月莖間

あり一莖と抽穂を六辨の法多と開く冬

△一種根ハ塊阿
葉猶狭く
直さすもの

一種 葉幅二分許長さは四五寸

一種 やまのひげ 山中ノ自生阿葉潤さ三四分長さ

一尺餘花穂長く葉と齊し實紫黑色根亦塊

一種 やまのひげ 山中ノ自生阿葉潤さ三四分長さ

ありて長一

一種 やぶらん 是大葉の花より葉潤さ七八分長さ

一尺半許面深緑色より七月ハ淡緑建蘭葉より似たり

花穂となりて六瓣淡紫白色又白花もあり後實を

結ぶ黒色よりて大き南燭子の如し人漢種の物なり

大葉の物と同し一種ねさふささ大知一本さねわりささ米澤

とりしあり初生の葉黄白色秋よりなりて漸く緑色より

變り又べつかりたりとより緑色より白斑ありなり

萱草

つるれり式延喜

春月宿根より生れ葉ハ

蜀黍モロコシより似て一根叢生戦氏地由と採て葉と有る人食す夏月一莖と抽て花を

開く形百合に似て紅黄色千葉單葉の二あり

單瓣の物と採食之し草花譜より單瓣者可食す

辨の物食之殺人と云是ハ花と食すといふなり千葉

の物と漢名は虫萱芥子園畫傳とより一種ありて名んさるハ

尋常のありて葉より白色の間道道ありなり是と

文萱花中山傳といふ此類皆根塊ありて秋萌たたり

一種 面ありて名んさる 苗葉甚長大長さ

よつてあり後洲
くらんす肥前



さうとしい

又とんがうさぎ 本草ともしよ

淡竹葉

さうとしい

處：山中に生る春宿根あり

生る初生竹の如く葉も令く竹の如く高さ二尺許

枝なく秋月穂を生る 枝で分つ 形雀麥に似て瘦なり

觸れ人衣を刺し秋月苗枯其根鬚細ありて處：山

阿形夾竹葉の如く硬く竹護詳録に竹頭草と名つ

鴨跖草

つるなき

荒野に多し春月實

より生る竹葉に似て厚く軟く圓茎互生し竹節間

より鬚根を生る夏月高さ一尺餘枝を令ち葉間

蒼を生る身形鳥の或角に似たり其中の花を開く

二辨すし青珀色又白花あり又青色よりして周り

黄色 白 色なりあり又紫色色を帯りあり

一種 大和國及近江の栗本郡山田村にて栽りしものハ

苗葉大より高さ二三尺直立たり花も尋常なり

より倍せり此花を早朝に摘て汁を搾り紙に染たる

とあるがもとより漆家下繪に用ひ又燈籠等の画

具に用ひ此紙を水に入紋のたる其青汁 共画をり

葵

かんあふい

古ハ五葉の一よりして食用に

つゝふ単又熟八と云ハ冬葵と指ナリ武州品川一
自生所の舊幹より生る葉ハ圓く一處ハ雲頭の
如き鋸齒あり葉ハ掌の大きあり高さ三四尺圓葉
より互生一春夏葉間ハ五辨の白花と開ク錢葵
み似て小なり實ハ蜀葵こまあひに似て甚小なり具葉菜と云
し々々葉滑なり

一種 ねかのり 形状冬葵に似て葉の周りに縁
ありて皺む花實も冬葵と同一葉と株暑乾し微
炮り揉り煮物の上へ振食へ味乾苔に似たり故に

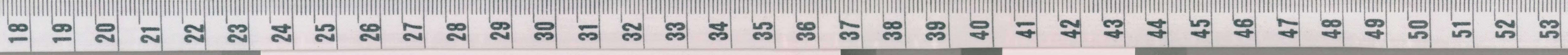
とかのりと名づく

蜀葵 ともあひ 人家多栽也形状冬葵

千葉緋葵
千葉丸葉葵
共 浮陽花木記

み似て葉大より五尺ありて芙蓉に似たり莖高さ
八九尺梅雨中花と開ク芙蓉花に似たり單葉
千葉紅色淡紅色白色又白色より心紅なるを
こべにと云ふ黒色紅なるをろろあひと云ふ漢名雲
葵秘傳と云ふ其實莖木槿に似て其實圓く一
扁數十華輪の如く周りに着冬葵より大なり

一種 錦表天解 せはあひ 人家に植



葉ハを考ふ似て圓く苧麻イナの如く茎は同さ

△爾雅ふんと云
注よ其花大如五

之四尺梅雨中葉間ノ葉の花を開く五瓣淡紅色
鉄紙粉紅色葉の葉筋あり大さ錢の如く故に漢書も
縹紋と云り

錢葵 秘傳 といふ又白花なる物あり

菟葵 ふくべら 山足陰地は二月頃宿根

より生んあふ處は他草但地物の多し葉ハ牛蒡イナ

に似て小く牝牛兒苗葉ありて白点あり一葉葉生し

従て一茎と生一花を開く大さ白梅の如く此物必

一茎二花あり故に又ふんさうともよ根ハ鳥頭ハ
夏月苗枯り

似て小く連珠と云ん

一種 八重のふんさう 苗葉ふくべらハ似て

稍がく初生葉多色と帯し一茎二葉ハ其花白色

千葉の梅花ハ似たり根も前種と同ド

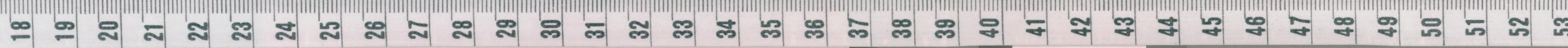
一種 ちんどんさう 山貴船息女 相州管白根其外山足ハ似

山中より節分の頃生ん人家ハ栽培と云正二月

より生ん葉ハ鳥頭ハ似て小く茎長さ二寸許一茎

一花を開く五瓣白色梅花の如く根ハ圓ハ塊あり又重辨ハあり

延胡ハ似たり黒褐色なり以上三種蕪菘説と云



の物見たり

一種 いちまんさう

又一花さうともり春月

山足の陰處に生る初生蕨の如く葉色長ずらん

葉は~~細~~細形緑色せりぞんさうの葉に似て稍大

花又多く背紫紅色葉中一花を~~開~~開く五瓣

白色微紅色と帯し根釵股の如く又葉の如く黄白

色去中と延鄭樵通志の天葵崎嶇神書の紫北日

天葵ハ此類打るべし

一種

越後信州等に産するもの葉牡丹に似て

少く苗高さ三寸許一葉一花なり花五六瓣より
長く白色に微紅色と帯し根の形一まんさうと同じ

一種 千葉の物

一種 苗葉少くして花紫紅色の物又宇夷説

と云ふの菟葵^{先華}と云ふと名朝露さうと云ふ

其形~~異~~是ハ高さ二三尺より夏秋の間花を開く

ものなり小宇夷云其形至小中菟葵^{先華}葉動揺春

風をなすと云ふ種なり^{先華}ぎんせん^{先華}に菟葵^{先華}の

野西瓜苗なり

黄蜀葵

こころく

春末に實を下して

生れ初生ハ野葡萄葉の如く圓莖五生一葉五尖有りて大棘葉の如く秋月葉間ハ五瓣の黄花と開く花心紅紫色木槿花に似て稍大なる後角を結小形胡麻に似て五稜有りて毛茸有り熟をれば黒色内ハ仁あり其形獼猴の面に似たり故にさうめんさうと云此根乾して紙と漉粘りし用也故に移りぎと云又高八寸許りして實は球形同く一種。山吉貝朝權圖漢種と稱するもの有り苗長大莖ハ岐深

く細く花ハ菊種と同く但大なる葉と四五葉あり

龍葵

うーんじつぎ

又いぬあつぎまきよ

實より生れ葉ハ酸漿水ツキに似て多く枝を分ち

夏月五瓣の小白花を開き實を結ぶ熟して

黒色簇生れ秋月苗根共ふ枯

龍珠

えんじつぎ

又いぬあつぎまきよ

根より生れ葉ハ高陸に似て小多し枝を分ち葉

枝間ハ五瓣の淡黄花を開く形酸漿花に似て

小く後實を結ぶ圓字實の番椒に似たり紅色

かるんと白牡丹の如し

一種

いねわらうづき

苗葉龍珠の如く但其

實稍曼陀羅華に似てわく又茄子に似て緑色

すくすく少なり

酸漿

わらうづき

北州在引山の傍わらうづき宮子有生長し
人家多植春月宿根より

生ん葉ハ茄子に似て紫色なり一節に二葉並ひつぎ

其間より花を開く一瓣なり五光にたり茄花に似て

黄白色後實を結ぶ形燈籠の如く又葉の如く熟すれば

色ひりり中の實母指頭のちささなり正圓なり奥州又

又一般の中は實二箇並ひ着るとあり

一種

たんむらうづき

形似尋常のわらうづき

に似て葉莖長大散長なりして尖りたり實又大

一種

たんむらうづき

莖葉酸漿と同じ但その實圓散なり

苦蕒

名釋

てんむらうづき

春夏の間園

圃の中は實より生ん苗短なりして枝多く葉

實ともよ酸漿に似て少く熟しても緑色なり

蜀山良酸漿より實を結ぶなり多き故にせんあり

わらうづき

ワルトラリキニ
改ムベシコシ紫
ルヒヨトモカハ
白ニシテ六白英
ト云

蜀羊泉

かろし

入るよまろさろふこともし

原野藩藩離の邊に多し 春月 若苗莖よりもし生れ葉は菊に似て
鋸齒なく毛あり五生れ夏月葉間又五瓣の小花を花を
開き實と結ぶ房をせしり形龍葵の如く秋月又熟
せしハ紅色なり

秋より葉をたれ 五瓣葉を 花は赤く 房は白く
後實を結ぶ形柳子似り故に又さうかきともい
なり 蝦夷よりいふ人食むと云ふ花葦ひんじん草に
似たり

花はてれり花はひんじん草に似たりと云ふことハ蔓草なりして花は白色也

蔓草類の白英ナリ

漆姑草

集解 藏器

たかのみつめ

人家庭隙を多し

小草なり 松椏等の苗に似て軟く花は白く又鱗莖
に似たり又少なり小白花を開きハ朝兒と結ぶ
一種 安房の産ハ苗大なり葉長さ七八分なり

一種

徳州御嶽の草に
似たり

是亦大なり花は白く大は

瓜一種

くんごごめなすび

漢名六月柿群芳譜

吾國蔓栝上同普陀山志云番蒂種來日本味甘美と
以れども本邦古くいな又中昔外國と渡りては春月
實と下して生ハ葉ハ菊に似て大なる圓蓋するて
互まに軟弱さして特立することゆゑり地を臥して
節より根をまき茎葉ともふ毛茸あり稍臭氣あり
秋より熟して丸何り五瓣黄色形茄子に似てカ
後實を結ぶ形栝に似初故は又さうかきともよ初綠色熟むれば紅色
なり蝦夷さといふ人食むるとは老輩ハいふと

瓜一種は以て其の皮ひよどりさやうといは蔓草なりして花白色也

蔓草類の白英なり

漆姑草

集解 藏器

たかのみつめ

人家庭陰を多し

小草なり松椈等の苗より軟く也又鹹蓬
ツバミ似て又少なり小白花を開き小葉兒を結ぶ
一種 安房の産ハ苗大なり葉長さ七八分あり

一種

信州御嶽の草

是亦大なり花殊々大也

六瓣の白花連生一後天茄子ウシホリの如き葉を結ぶ
其形鈴と垂るるなり故にむづらんともよ

一種 小葉のしちやくさき 深山中より生る四時

岩の三八紅色の
花種あり

共より一茎の由葉高は一寸許頂より四葉生る

柞木葉の似て葉と帯の中心より一花實あり形状

花のしちやくさき
葉の如き葉を結ぶ
頭目老駿州馬出
のしちやくさき
似ては葉色なり

前種と同し 本草園澤卷之十八 浪草類六 女郎花 和名鈔ともし

下(六)

敗将酒 万葉集 山中自出 春月宿根より生る葉ハ菊の似て甚長大

初地より布フ夏秋月圓莖對生一三四二二二尺稍蘭草の似て

草生録の

五瓣の少黄花族開後其葉楓モミの如き葉を

結ぶ一種形状同し夏月花あり力のあり根葉

根の如くし粗く敗将酒の臭氣あり故に岩花

一種 毛のドゴの如きなり 初加州白山より採

得たり又白山と云ふ一ともし武州秩父山ニハ

葉ハ懸釣子キイテゴに似て高さ一尺餘花黄色

て前種と同し

二種 毛の如き 山野より一苗葉大なり

白毛あり秋月花の開くニハと云ふ一ともし

△下野足尾峠
又武州御嶽山
空すまも有り
和名白山

但白色なり此時冷説と云ふの敗醬なり

一種 ちりともるめー 春月花のり也名はく

葉六敗醬に似て鋸齒粗く圓葉互對生八葉中
空かすり高さ二尺許五瓣の小花を開く紅白雜
りの人のこころともいふ根は細辛に似此莖扁く
屈曲も物等法螺の如くちりともるめーといふ
根ハ細辛に似て良香あり荷蘭よりハレリヤナ
と云神經を強壯するも用也俗に野甘松と稱
ルとも甘松の屬に非ん

一種 武州近郊自生此ものハ前種に似て若

葉小く高さ二尺許花淡紅色根は白鬚ありて
土上と延處に根をくだハレリヤナのみ根なり

迎春花 ワらびい 人家に植小木なり方

莖綠色葉は百脈根に似て尖り深綠色正二月花あり
六瓣黄色目々茉莉花に似て瘠なり一種琉球
ワらびいと云ふ俗に木香花と稱するに非ん木香花
ハ白色千瓣芳香のものなり此ハ芳草非茉莉の
附録黄素散香打ス

款冬花

やまふき

本草和名

今ふきとて薬用

ふきの花を用ゆふき小數種ありあつふきは花の
 蕾紫赤色をくを開くと淺紅なり花はふき
 琉球ふきといふ甲州身延山より出るといふ是藤原の
 説に有紅花と云本經蓬原の花紫色有白絲者
 真と云是なり一種はふきあり葉背紫色茎深紫
 色より花淺紅なる此二種紅花款冬百苑ともいふ
 一種 ちうぶふき 又白ふきとも云茎葉淺緑
 色葉甚大なり根徑り一尺餘高さ二尺許春月花を

食用

一種 秋田ふき

種 羽州より出つ茎根小迄き處

淡紅色茎は絲有り苦味なり此二種食料と上品なり

一種 朝鮮ふき 是ハ其葉大なり花株は數

十顆をまき故に大やつのらともいふ苦味有り食用は下品なり

一種 ちうぶふき 葉邊皺之淺綠色より光

澤あり花白色なり

一種 急ぎふき 此種蝦夷より來り葉甚大

しく茎葉白色あり急ぎ雨の時掃て傘を代ふ雨

と凌ぐ大に徑り六丈人茎甚肥大柱の如く稜もく
高さ七八尺味淡し下品なり弘景の説より高麗百
濟より出るもの大菊花の如しと云此類あり

丁種

臺赤五口

釋名

一とあまき

九からこたか

欵冬の一各と云るハ誤

ありしと通雅に辨せり史游急就立早に半夏皂莢
艾臺赤五口欵冬と云注に臺赤五口似欵冬而有經生陸地
花黄色一名異須と云撮り先輩つとあまきと云つとぶ
きハ相州紀州等ハ山野に自生あり葉ハ欵冬に似て

又葉の周りに稜の如くつとあまきと云
厚く冬凋みん十月莖を抽て花ありとんくといさ
ふ似たり昔より黄白色の經あり生葉と採腫物の
上ハ貼て此ハよく膿と吸出ん葉を日乾し服せれば魚
毒を解す但砂糖と同しく食せれば甚きは死する

一種

マコトつとあまき

朝鮮つとあまきもよ葉甚

大より一尺餘あり尾州に白花の物ありと云

一種

つとあまき

葉の周りに鋭之形龍冠花の

如く花も又よれなり

一種

つとあまき

葉は白毛あり細節の



如く長花の長ついでに年序葉の如くまのついで
茎地に布て立ぐ四時凋落冬月茎と抽て花
あり葉五口と同一

鼠麴草

鼠麴草

又花のついでに

らくこらさ

又徳實録又御形ともいふ

七種葉のついでに山野又園中にもあり秋月實より生る葉
ハ卷耳ミハナナに似て五生し白毛ありて綿の如く春の末
高さ七八寸根本より枝を分ち梢より黄色の花あり
形白甚向に似たり田家よりハ此苗を採り餅に雜せ

一種

らくこらさ

平原の地より多く生る

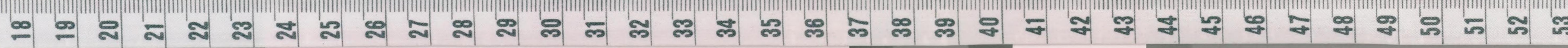
らくこらさより小く面深緑色より背より白毛
あり地より布高さ一二寸花もらくこらさの如く似て
あり

一種

秋のらくこらさ

秋月實より生る嫩苗の葉

ハ鼠麴草に似て軟より厚く面は月共より白毛多
綿綿と覆覆う如く葉ハ茎より密なる生る月共より高さ
二尺許秋梢より枝を分ちて花あり又鼠麴草の如く
秋深しより苗根共より枯



决明

カシヤア 何蘭

享保年中津程渡り

今處々薬圃に栽四月種を下して冬に一莖六葉
對生して替蟲豆莖の如く其一葉本狭く末濶
一葉一葉ハ圓莖は夏生る夏月莖高き二三尺
葉間は五辨の黄花を開く形梅花の如かり花心は
莢と結ぶ長一尺許四稜あり中の子あり緑豆の如き
一々茶褐色形馬蹄に似たり薬用は上品なり
即ち弘景説處の馬蹄决明是なり

一種

人ふさく

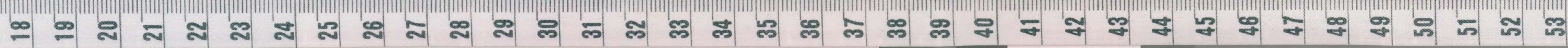
琉球方言ハブハニヘビ
共ニ反鼻の音通なり 琉球より種來 彼處

一六毒蛇多し此を植て蛇を避るとし三四月種を下
して冬生る葉ハ馬蹄决明に似て大りて狭く槐葉の
如く六葉八葉對生る秋月莖高き三四尺花ハ一分
梢に穂となり五辨の黄花を開く又馬蹄决明に
似たり後莢は結ぶ圓にして長き三四寸熟ては
茶褐色莢中は實あり圓にして扁く黄蜀葵に
似て緑褐色なり 此物勿く新書三十六卷養生必
要云蛇滅門草此草人家種以辟蛇也草形如草决
明子葉實作角と云又發明の時珍相感志に引て云

園中種決明蛇不敷入丹溪朱氏言决明解蛇毒本於
此名ど云とこれハ决明も又蛇と碎りなり全と一類なる
こと知べし——即時珍の説は江芒决明ハ楓葉ハ似て
角二寸許中子如黄葵子ト曰而扁トハ是なり又
備急本草ハ旨洲决明子救荒本草の望江南花曆
百詠の江南豆皆同物なり時珍又江芒と附録
出たハ之里出たり是又（？）又山豆ト
同物と云ハハ誤なり山扁豆ハきつ豆のびんさくらと
救荒本草の説ハ詳なり附録の合明草ハ田字草

蕒（？）生有三稜名雅雅之望江生
者為淡蕒也海者為鹹蕒土人
採以相履穢席亦可為獨（？）
蕒水草也後之積泥可以成田方
田三種（？）

五葉ハ夏月廣さ五尺小白花と開き、小實と結ぶ
此品食用なり——その眼力病ハ一兩度食てれハ愈
一種 朝舞あらしき 形状前條に似て根上より
枝を生し——莖肥大し——葉色高きニ西ノ草
乾しハ葉帯とせらるる——又海濱に生くとも草
らきとハ此ハ蕒の類なり



園中種次明蛇不敷入丹溪朱氏言夫明解蛇毒本於
此名ど云とこれハ決明も又蛇と碎りたり全ク一類なる
らと知べ——即時珍の説ハ江芒決明ハ楓葉ハ似て
角二寸許中子如黃葵子ト曰而扁トハ是なり又
備多本草ハ旨洲決明子救荒本草の望江南花曆
百詠の江南豆皆同物なり時珍又江芒と附録
出たハ重出なり是又~~豆~~又山扁豆と
同物と云ハ誤なり山扁豆ハきつ豆のびんさくらと
救荒本草の説ハ詳なり附録の合明草ハ田字草

江芒 琉球ハ草
七島 七島
の地子栽 丸 似て細く燈心草子似て稍
扁く肥なり

夏月廣ク三四尺小白花と開キ、少實と結ぶ
此品食用なり——その眼カ病ハ一兩度食ハれハ愈
一種 朝舞ありき、 形状前條ハ似て根上より
枝を生——莖肥大——葉色 高ハ二三尺此品
乾シテ簾トナリ——又海濱ハ~~の~~と云ハ
らきと云ハ~~の~~類なり

國中種次明蛇不敷入丹溪朱氏言决明解蛇毒本於
此名ど云とこれハ决明も又蛇と碎りなり全と一類なる
こと知べし一即時珍の説は江芒决明ハ槐葉の似て
角二寸許中子如黄葵子ト曰而扁とし是なり又
備多本草ハ宿州决明子救荒本草の望江南花曆
百詠の江南豆皆同物なり時珍又江芒と附録し
出たハ重出なり是又~~豆~~又山扁豆と
同物と云り誤なり山扁豆ハきつねのびんさくらと
救荒本草の説ハ詳なり附録の合明草ハ田字草

和漢
通名 水草部 豆類 圖あり

地膚 とくきぐ 俗ハちうきとハ春日

實をとりしとせん葉ハ卷耳ナリ、深緑色 似て長ハ

五まん夏月高さ^二四五^一尺小白花と開き、花は 實を

此品食用なり、その眼カ病ハ一兩度食これハ愈

一種 朝舞ちうきぐ 形状前條ニ似て根上あり

枝を生し莖肥大し^て紫色高さ^二四五^一尺此

乾し^て簾とちんす^る又海濱^に生る^{こと}あり

くさとし^ハ此ハ^ハ藜^の類なり

Handwritten notes at the top of the page, partially obscured by a label.



△草六識
錦竹有草
本者皆木本
者洗名有紅
白云云

一種 數種 花弁紅白又雜色あり十五城獅子孔雀丸花
一種 又あじあや一と云

い山秋月實之下りて生る春に至り高さ五寸葉
硬くて光澤あり花ハ眼雀夾より似て経行く淺鋸

齒あり紅色白色の二種あり

一種 へばさく 處々海濱に生る葉ハ

あじあや一と云似て濶大なり冬凋まらん花弁

圓くし櫻の如し

一種 かんあや一と云 琉球より來り形状たま

さくくふりて冬令の頃花あり又をよさららよ

似て紅色紫心美し寒地をてハ育せ人

一種 たまるで一と云 是亦安房より生る海邊

より多し葉ありてなでしり似て短く圓く密なり

互生なり高さ三四寸梢は穂をなして五瓣の白

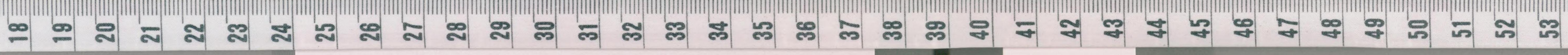
花と開き圓殼を結ぶ形曰生宿菜又ニトラの實より

似たり 一名木藍子張寧江 都志と云

玉不留行 古道灌山子薬園あり此種たまく

生止るなりとあり因て道藩さくと名はく今ハ絶て

なり今諸種ありの多あり秋種をとりて生る



葉ハ曠來^ハふけて濶く粉綠色圓莖對生一冬を経て
昔より莖高き二尺許梢に枝と分ち末よりふ
房と生る形鈴に似て夫より五辨の淡紅花を開く
かゝるものであり似て稍少り^後其房圓大なり
小指頭のちさく細黒子なり藜子より大なり薬用
と云へ

一種 かんざげー

又あつさくさく^{幸嶋和漢}と云ふ
山野より宿根あり

葉ハ前ア夏羅に似て圓莖對生一梢の葉ハ狭く
王不留行葉に似たり夏月莖高き二三尺梢の葉同

五辨の白花と開く王不留行に似たり其畧圓

て形鑿栗米殼に似て出^{のち}故^{のち}の^ちけー

備急本草成徳軍の王不留行
四枚荒本草の女華葉なり此根頗人蔘に似たり
又人先年薩摩平の鬚人參に偽り因て是と偽り
さうまふんとも云ふなり

一説 へんちのぶ 春月宿根より生る葉ハ

小葉葉ハエドクに似て大よ又槐葉に似て軟なり
夏月莖高き二尺許梢に枝と分ち五辨の
小葉と開く葉の石色より形亦松稔に似たり



後園ニ贊と結し稍玉不留行子に似たり此物

蕙頰の説し亦有似槐葉者四月開花黄色系

葉證類本草隨莖而生如松子状と云是行り舊

説は白解はんるまのふこを多取なり

一種 蝦夷の産するものふこ苗葉共ふ大

くく茶藤の葉此如く花も大くく栝棟

の如し 高麗宮春通名たるんあま

剪春羅 ますしとせんのみげ 野生なり

春宿根一人は多く我より生る葉ハ白薇オオフに似て硬く毛茸

○圓莖對生に春り末梢は花と開く五瓣

く形石竹に似て大に鋸齒淺く花瓣四なり

一種 紅白雜色葉の所石榴見の如し

一種 高き一尺許花白色より紅

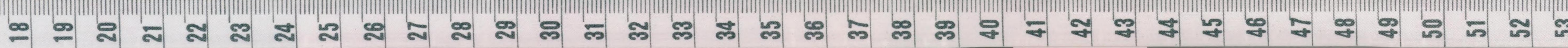
き紋りあり

一種 井午の如し 高さ一尺餘花白色

くく黄色と帯し

一種 燕尾せん 葉少く狭く高さ一尺餘

花も少く葉天箱の如く燕の尾に似たり朱紅色なり



一種前夏羅

一名赤紅羅鏡
かんぴ

處、山野自生あり

せんのかう似て硬く夏月花なり形石竹花に似て深紫鏡
丹色なり白花もあり又大かんひ赤色大かん又さうさかんあり
種 車かんひ 四五葉對生 莖頭より葉あり葉間あり花を聞
種 白根かんひ 下野白根山より産ん草花

長莖圓く細く高は一尺餘花白色くかん
一種 びらんド 苗葉短く葉ハ白根
かんぴに似て紫色と帯入花瓣狭く紅色なり

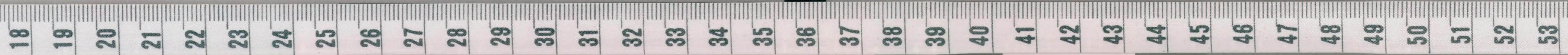
一種豹筋蔓 叔荒 本草 大山とく又佐かん
いふ武州目白邊野生あり宿根より生ん葉ハ蔽ふ

縷子似て夫り莖軟弱立ちとあつらん蔓の如く
花白色五瓣解虫の殻に似たり後小圓子と結ぶ

熟して黒色なり 石漢宮秋
一種前秋羅 おきせん 形状前春羅

の如く 二尺許花の形 瞿麥の如く大なり
又繖と云い紅なり色より又房の如く又白なりと用ひ色の物白花も花を聞

本草図譜卷之十九 金草類七
きんせん 人家に植實す下
の問き 三寸許楕圓に花を聞 形旋覆花



似て黄色半開花の形はこゝろ實
の形屋曲して虫に似たり

一種 コウゴんさう 人家稀に植春月宿根

より生ん葉ハまんせんさうに似て潤大又萬葉ヤシに似て
黄緑し夏月花を開く千瓣にして黄紅色形蒲公

英オシに似たり

善草 ぬらな 又とちるるもい山野の陽

地より秋月實より生ん葉ハ雞兒腸ヨメに似て
少く厚く毛茸あり津せく辛初春生高き二三寸枝と合し穂

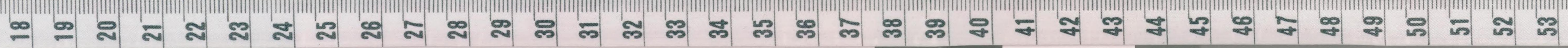
とり四瓣の少と開く芥花に似たり後扁き英
と結ぶ形米粒の如し中細子あり茶褐色味微辛
善草止甜苦の二種あり甜善草ハ薺ナツの實なり
苦善草止和産未詳近頃救苦本草の過藍菜クダナイ
の實を用れとも子大りて悪臭あり

一説芍芥草 蕪頌の説は生角細長といはん

たざわなり山野より秋月生初生地は布き等蕪頌

二三尺梢穂より四瓣の小白花を開き後角

と結ぶ細長より箸の如く長さ四五寸中細子あり



口伊吹カニ
し州

一種 へんてんたごん 海濱に生る形状これ

さへり似て葉稍大よりして葉々穂長一えんたごん

二種ハ故荒本草の南芥菜なり

車前子 延喜 ねぢむこ式 あつみん 今ねぢむくとし 随地

道傍甚多し一宿根より生る葉ハ澤瀉に似て短く

夏葉間ニ穂を生し長さ二三寸子の葉葉止り似たり て首をり

一種 又尾州の産を記す 江州三井寺の産ハ苗甚少しして葉ハ小指頭の長さ

より穂も又短かり

一種 琉球ねぢむことしより葉圓く厚く深緑色は

光澤ありさうこねぢむことし

一種 漢種の物なり葉ハ潤大なり一茎二葉と

生ず根上紫色なり穂ニ岐を生ず  又穂の形帯

の如くありとありさねぢむことし

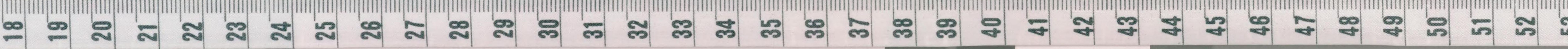
一種 朝鮮ねぢむこ 又さうねぢむことし

葉長大澤瀉の如く穂長さ二尺許岐を生ぜん

一種 薩州及三河の産ハ朝鮮ねぢむこより稍

小く厚く光澤あり 穂甚長し

一種 暖夷の産ハ葉ハ毛茸あり根上紫色なり



うーのまて 山城

狗舌草

生さくんとぐらりや 大和と云

又らさざく 下総と云

水邊の二草あり

水邊又原野にも河の物也

春月宿根より生る

葉ハ旋覆シクルニ似て長く石よく白毛多し 山生ハ 茎高き二

三尺梢は八九葉あり形葉吾花を似て後白茄と有

一種 土よりさく 千葉のあどさきくなり

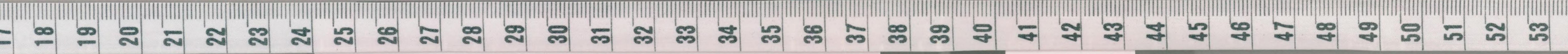
形此さくんとくろすふ似て花ハ千葉黄菊の如し

一種 ちり目ん 江戸 相州塔の澤 信州草津和田峠等より

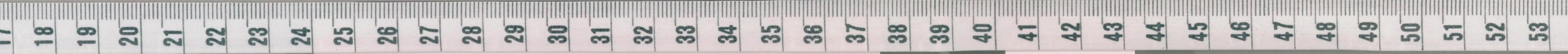
春月宿根より生る狗舌草より似て毛茸なく根上微毛

葉稍潤し夏月死なり單瓣紅黄色形葉五葉

似たり



特1
3407



国立国会図書館 タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用

特上
3407



国立国会図書館 タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『本草図譜』 請求記号 特1-3407

ガラス使用